

研究課題名	集中治療室における急性腎傷害の発生とせん妄との関連性における検討
研究機関名	武蔵野赤十字病院 東京医療保健大学
研究責任者	所属 武蔵野赤十字病院救命救急センター看護部 氏名 小林 圭子
研究期間	平成 26 年 8 月 ～ 平成 27 年 3 月
研究の意義・目的	入院中のせん妄発生は、長期的生命予後の悪化や退院後認知機能障害の合併等様々な問題を引き起こすが、危険因子については不明な点が多い。本研究では危険因子の一つとして腎機能の低下に着目し、急性腎傷害とせん妄との関連性について調べる。
研究の方法 (対象期間含む)	対象症例：武蔵野赤十字病院集中治療室に2012年4月から2014年3月の間に入室し、48時間以上滞在した症例のうち、年齢が18歳以上の者を対象とする。ただし、鎮静スコアであるRASS (Richmond Agitation Sedation Scale) が-4以下の昏睡患者、採血データやせん妄スクリーニング等、必要な情報に不備がある症例は除外する。 データ収集方法：当院研究者が電子診療録より対象患者の情報を収集し、匿名化(連結可能匿名化)した上で院外共同研究者に提示する。院外共同研究者はデータの整理・入力および解析を行う。
個人情報の取扱い	院内でのデータ管理(連結可能匿名化された対応表含む)に関しては、院内責任研究者が武蔵野赤十字病院個人情報保護方針に基づき管理する。院外共同研究者は匿名化された情報のみを扱い、解析にはパスワードでアクセスが制限されたパソコンを使用する。情報を転記した紙媒体は鍵のかかるロッカーに保管し、データの不備がないことを確認した上で裁断して廃棄する。
問合せ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ先 〒180-0023 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院救命救急センター看護部所属 小林 圭子 TEL:0422-32-3111(代表)